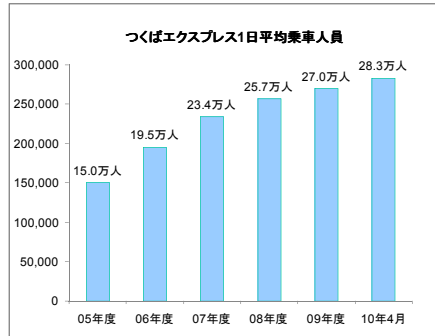


柏の葉キャンパスシティの立地 ～つくばエクスプレス

5

- 乗客数は、開業時より1.8倍に増加。
- 東京駅延伸の条件「1日乗車数27万人」を突破



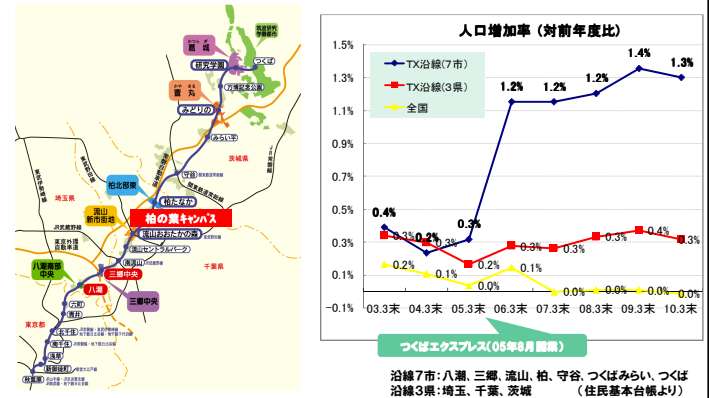
TX、1日27万人突破 延伸に弾み

10.6.8産経新聞

柏の葉キャンパスシティの立地 ～沿線開発

7

- 鉄道と都市を一体整備する宅鉄法^(※)に基づく土地区画整理事業
※大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法(平成元年施行)
- 沿線全体で開発面積3270ha、計画人口25万人



柏の葉キャンパスシティの立地 ～道路網

6

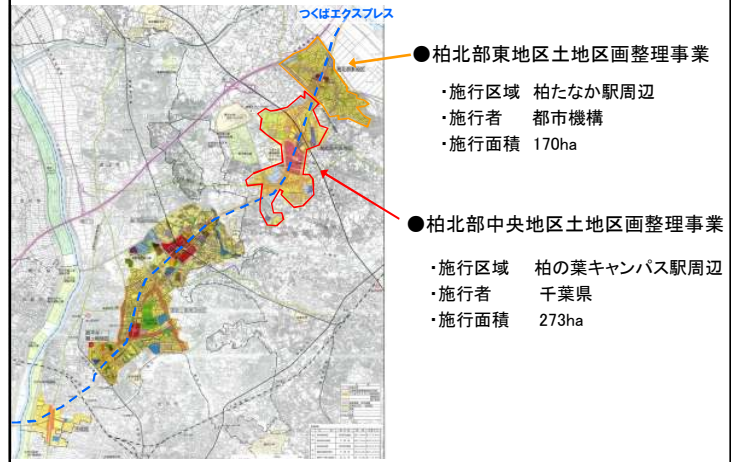
- 常磐自動車道「柏インターチェンジ」はキャンパス駅から2km。
- 圏央道、外環道の整備進捗によりアクセス改善



柏の葉キャンパスシティの立地 ～沿線開発

8

千葉県内のTX沿線の区画整理事業



柏の葉キャンパスシティの特徴

9

①日本を代表する学術機関が立地

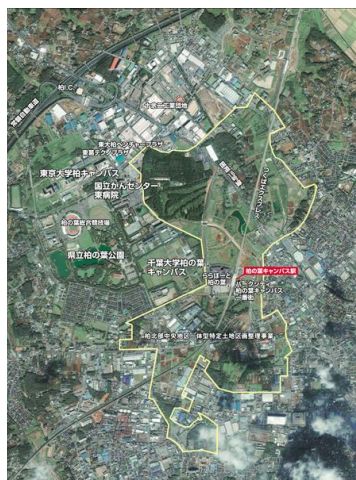
～2km圏に、東大、千葉大、がんセンター

②「都市」と「田園」の魅力が共存

～生活利便性と豊かな自然を併せ持つ地域

③公民学の連携した街づくり

～東大、千葉大、柏市、千葉県、当社



柏の葉キャンパスシティの特徴 ～①学術機関の立地

11

●東京大学柏キャンパス

(面積33ha、教職員・学生数3000名、2000年稼働)

◇柏の葉の位置づけ

- ・本郷、駒場と並ぶ「三極構造」の一角
- ・「柏国際キャンパス」と位置づけ
- ・新たな学問領域を対象とした「学融合」を志向

【進出済みの機関】

- ・宇宙線研究所 (00年)
- ・物性研究所 (00年)
- ・人工物工学研究センター (05年)
- ・大学院新領域創成科学研究科 (02～06年)
- ・数物連携宇宙研究機構 (07年)
- ・高齢社会総合研究機構 (09年)
- ・大気・海洋研究所 (10年) など

◇最近の動向

- ・研究者の生活支援施設を整備
～保育園(08年)、研究者・留学生滞在施設(10年)
- ・駅前街区内で「東大フューチャーセンター」を計画中

数物連携宇宙研究機構

- ・ノーベル賞、フィールズ賞受賞者を含む国内外から一級の研究者200名
- ・文科省5つの「世界トップレベル研究拠点プログラム」の一つ

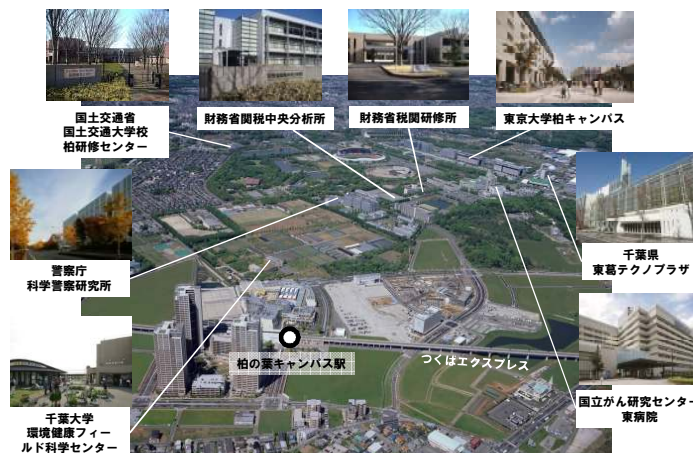
数物連携宇宙研究機構長
村山齊教授



柏の葉キャンパスシティの特徴 ～①学術機関の立地

10

●大学、病院、公的研究機関等が、2km圏に多数立地



柏の葉キャンパスシティの特徴 ～①学術機関の立地

13

●千葉大学 柏の葉キャンパス

(キャンパス面積17ha、教職員・学生数120名)

千葉大学

- ・9学部、学生1.1万人を擁す国立大学有数の総合大学。
- ⇒学生数は、国立大学で8番目
- ・国立唯一の園芸学部、国立初の看護学部など、特色ある学部を持つ



- ・2003年、環境健康フィールド科学センターが開設。
- ・センターの研究領域は、「環境」、「健康」、「園芸」、「東洋医学」。
- ・社会還元を目的に、地域に開かれた取り組みを推進。
～柏の葉診療所(04年)
～柏の葉予防医学センター(07年)
～カレッジリンクプログラム(09年)

●国立がん研究センター東病院

(ベッド数425床、患者数1日600名)



- ・国立がん研究センター病院は全国2カ所。
- ・全国6カ所の陽子線治療施設を持つ。
- ・病院機能のほか、研究(臨床開発センター)、研修機能。
～緩和ケア「がん患者・家族総合支援センター」設置(08年)
～先端医療開発特区「がん医薬品・医療機器早期臨床開発プロジェクト」(08年～)



柏の葉キャンパスシティの特徴 ～②「都市」と「田園」の魅力の共存¹⁴

◆都市としての魅力

- ◆都心まで30分、駅前に大型商業施設、医療機関が豊った快適性、利便性



つくばエクスプレス ららぽーと 辻仲病院

◆田園としての魅力

- 豊かな自然や広大な公園に恵まれ、近郊農業も盛ん。



【県立柏の葉公園】
・面積 45ha
・野球場、スタジアム、テニスコート、体育館、ボートハウス、芝生広場、日本庭園、バーベキュー場など
・野球場は、公式戦対応。



こまぐろ池



利根川河川敷



柏たなか体験農園

【柏の農業】
・カブは市町村別の生産高全国1位
・ネギ、ほうれん草も10位内
・隣接の野田は枝豆が1位

柏の葉キャンパスシティの特徴 ～③公民学連携した街づくり¹⁷

●「柏の葉国際キャンパスタウン構想」

- ・多様な目標を掲げ、街づくりを推進(環境、産業、教育、交通、生活スタイル、都市空間・・・)

目標	内容	目標	内容
1	環境と共生する田園都市づくり 「環境共生」を推進し、緑化率を向上させる。緑化率40%を達成	1	国際的な学術空間と教育空間の形成 世界をリードする研究や教育の拠点を創出する。100の研究や教育機関を創出
2	創造的な産業空間と文化空間の醸成 「U」地域の魅力を最大限に活用し、高度な新産業の育成と創造産業の振興を図る	2	サステイナブルな移動交通システム 公共交通や公共交通を軸とした人と人、人と車、人と動物の移動を促進する次世代交通システムの構築を推進する
3	国際的な学術空間と教育空間の形成 世界をリードする研究や教育の拠点を創出する。100の研究や教育機関を創出	3	キャンパスリンクによる柏の葉スタイルの創出 環境に調和し、暮らしやすい都市スタイル、また新たな交流や文化の創出を推進する
4	サステイナブルな移動交通システム 公共交通や公共交通を軸とした人と人、人と車、人と動物の移動を促進する次世代交通システムの構築を推進する	4	質の高い都市空間のデザイン 先進的な都市空間デザインを推進し、都市空間と生活の質を高める。100以上の公共施設を創出
5	キャンパスリンクによる柏の葉スタイルの創出 環境に調和し、暮らしやすい都市スタイル、また新たな交流や文化の創出を推進する	5	イノベーションフィールド都市 世界の最先端の技術や文化が展開する都市としてバイラルアップする
6	TERIAマゼメントの実施 安全で快適な環境と地域の魅力を維持し、向上させる地域経営戦略を以て学術都市を創出する	6	
7	質の高い都市空間のデザイン 先進的な都市空間デザインを推進し、都市空間と生活の質を高める。100以上の公共施設を創出	7	
8	イノベーションフィールド都市 世界の最先端の技術や文化が展開する都市としてバイラルアップする	8	

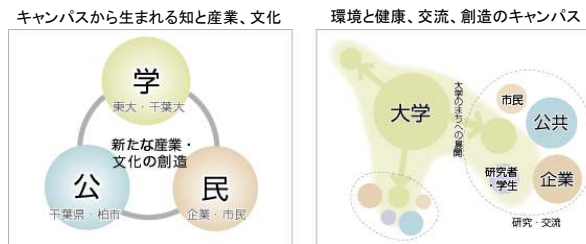
柏の葉キャンパスシティの特徴 ～③公民学連携した街づくり¹⁶

●「柏の葉国際キャンパスタウン構想」 (08年3月公表)

～策定主体: 千葉県、柏市、千葉大学、東京大学

理念 「公民学連携による国際学術都市・次世代環境都市」

～環境、健康、創造、交流がテーマ



「柏の葉国際キャンパスタウン構想」より

柏の葉キャンパスシティの特徴 ～③公民学連携した街づくり¹⁹

東京大学 小宮山前総長



＜柏の葉国際キャンパスタウン＞

～世界の知が、社会の参加を得て、キャンパスと街で実験を行いつつ、21世紀の社会モデルを創造する

課題先進国「日本」

少子高齢社会、資源が乏しく、人口密度の高い産業先進国

21世紀地球の未来像

モデルが成功すればデファクトとなる

世界に導入される

東京大学

世界の知が、社会の参加を得て、キャンパスと街で実験を行いつつ、21世紀の社会モデルを創造する

柏の葉国際キャンパスタウン

ご支援よろしくお願ひ申し上げます

東京大学

(2008.27国際学術研究都市づくりシンポジウムの資料より)

柏の葉キャンパスシティの特徴 ～③公民学連携した街づくり 20

千葉大学 古在前学長



「柏の葉」は、生涯学習、地域の交流の場として、21世紀の大学キャンパス。
 ・学生、教員と一緒に生活し、学び合う街を目指す。

千葉大学柏の葉キャンパス

- ◆ 千葉大学の総力を結集する
- ◆ 広域的視野でキャンパスを位置付ける
- ◆ 環境・健康を最優先するエコ・ユニバーサルデザイン
- ◆ 生涯学習(人間らしさの追求)の場 **緑のリング**
- ◆ 地域における交流の場

21世紀の大学キャンパス!!

Chiba University
 (2008.2.7国際学術研究都市づくりシンポジウムの資料より)

柏の葉キャンパスシティの特徴 ～③公民学連携した街づくり 22

●UDCKの利用状況

主な活動内容	09年度の実施回数
まちづくりに関する会議	237回
大学の講義・演習	83回
フォーラム/イベント	54回
国内外からの視察	40回
ワークショップ	35回
市民活動	22回
合計	471回

都市環境デザインスタジオ
 ・東大、千葉大、東京理科大、筑波大の大学院の合同演習
 ・大学の単位が認定される正規プログラム

海外からの視察
 ・スウェーデン、スペイン、中国等の環境都市の自治体、企業など

10.4.22 スウェーデンからの視察



柏の葉キャンパスシティの特徴 ～③公民学連携した街づくり 21

●柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)

- ◆2006年11月設立
- ◆公民学連携の街づくりの推進組織
- ◆センター長:大和 裕幸(東大 新領域創成科学研究科長・教授)

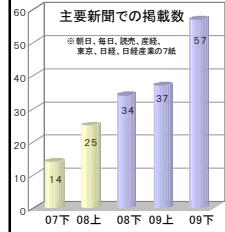


- 柏市 柏商工会議所 田中地域ふるさと協議会
- 市民 三井不動産 首都圏新都市鉄道
- 東京大学 千葉大学

公共×民間×大学

柏の葉キャンパスシティの特徴 ～③公民学連携した街づくり 24

◆情報発信について



地域の歴史(江戸～明治時代) 25

「小金牧」
「開墾地」

つくば
エクスプレス

柏の葉キャンパス駅

野馬土手
・現在も点在する放牧場の囲い跡

◆江戸時代

- 徳川幕府の軍馬を管理する「小金牧」の一部
～千葉県北西部(船橋～成田)に広がる100km²の広大な放牧場

◆明治時代

- 窮民対策の「開墾地(フロンティア)」
～明治2年、政府は開墾会社を設立。
～地名は開墾地の入植順に数字を冠す。

1 初富 (はつとみ)	鎌ヶ谷市	7 七栄 (ななえ)	富里市
2 二和 (ふたわ)	船橋市	8 八街 (やちまた)	八街市
3 三咲 (みさき)	船橋市	9 九美上 (くみあげ)	佐原市
4 豊四季 (とよしき)	柏市	10 十倉 (とくら)	富里市
5 五香 (ごこう)	松戸市	11 十余一 (とよいち)	白井市
6 六美 (むつみ)	松戸市	12 十余二 (とよふた)	柏市
		13 十余三 (とよみ)	成田市

地域の歴史(2000年以降) 27

	地域の歴史	当社グループ
00年度	東大 柏キャンパス移働	
01年度	県、土地区画整理事業着手	ゴルフ場閉鎖
02年度		ゴルフ場土地一部、県に売却
03年度	千葉大 環境健康フィールド科学センター開設	
04年度		
05年度	つくばエクスプレス開業	ららぽーと着工
06年度	UDCKオープン	147・148街区用地取得 ららぽーとオープン 柏の葉キャンパス推進部設置
07年度		
08年度	国際キャンパスタウン構想公表	パークシティー番街入居開始 現地事務所開設
09年度		フューチャーデザインセンター、 TXアントレプレナーパートナーズ設立
10年度	UDCK移転	パークシティニ番街入居開始

地域の歴史(昭和) 26

東大
キャンパス

がん
センター

アメリカ空軍 柏通信所
(188ha)

栗立
柏の葉公園

千葉大
キャンパス

三木村の葉
住宅

柏の葉キャンパス駅

らら
ぽーと

1974年

◆柏ゴルフ倶楽部

- ・昭和36年 オープン
- ・平成13年 閉鎖

◆アメリカ空軍通信基地

- ・昭和13年 日本陸軍飛行場開設
- ・昭和30年 アメリカ空軍 通信基地
- ・昭和54年 アメリカ空軍から返還
⇒区画整理事業により整備

柏の葉キャンパスシティが目指す姿 28

I. グローバル水準のキャンパスシティになること

住む人、訪れる人、働く人、参加する企業が、
まさにキャンパスに暮らすよう、学びあい、研究し、成長を続ける。

新産業・生活文化の創造

II. 「柏の葉モデル」の実現

住民、大学、企業の参画により、街を舞台にした社会実証を行い、
環境、健康、高齢化等の課題解決モデル都市となる。

大学 → 知の提供

住民 → 街への参加

企業 → 事業化の検討

街をフィールドにした実証実験
⇒世界の解決モデル都市へ

●街とともに、互いに成長を続ける共創モデル

- 住民 ⇒ 暮らしの質の向上
- 大学 ⇒ 新しい知の獲得
- 企業 ⇒ 新規事業分野への進出

●当社の開発キーワード
「知」が集積・融合し、人と地球の「健康」を育む街

●当社が担う役割

柏の葉の地域資源

①「最先端の知の集積」 ②「豊かな自然環境」

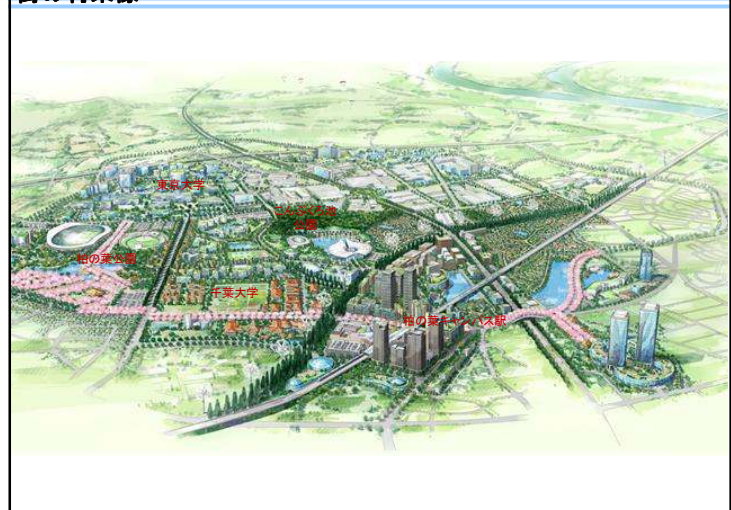
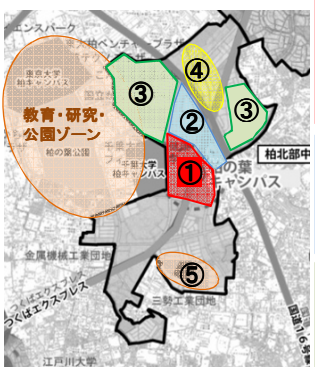


発見・発掘・育成

③公民学連携による街づくり
 テーマ:「環境」「健康」「交流」「創造」

～地域資源を繋ぎ、価値を創出～

<p>住人にとっての街の価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ●未来の住まい方を体感できること <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育・交流・実証プログラム ・街づくりに主体的参加による自己実現 ●住まいの基盤が整備されていること <ul style="list-style-type: none"> ・都市と田園の双方の魅力を楽しめるエリア ・学校、公園、病院等の充実の生活サポート ●次世代環境都市に住んでいること <ul style="list-style-type: none"> ・水と緑に囲まれ、健康を体感できる街 	<p>学生・研究者・働く人にとっての街の価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業と大学の連携による新たな発掘 <ul style="list-style-type: none"> ・社会実装を通じた新規事業展開、知の獲得 ・異業種交流による人材育成 ●知的生産性を高める仕掛け <ul style="list-style-type: none"> ・集約された、利便性の高い都市機能 （商業、オフィス、ホテル、住宅、ホール） ●大学街としての活動支援機能 <ul style="list-style-type: none"> ・公園、スポーツ施設、国際対応機能など ・様々な階層を繋げる知的交流プログラム 	<p>来訪者にとっての街の価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ●魅力ある都市空間・自然環境 <ul style="list-style-type: none"> ・快適都市生活と田園生活 ・多様な滞在サービス ●次世代の環境・健康を体感できる <ul style="list-style-type: none"> ・メディカルツアー・健康プログラム ・エコツアー・エコプログラム ●国際的な知の交流 <ul style="list-style-type: none"> ・体験型学びのプログラム ・研修・セミナー
--	--	---

①駅前機能集積ゾーン

- ・キャンパスシティの核となる高度機能集積
- ～大学、商業、オフィス、ホテル、病院、交流施設など
- ・街の顔に相応しい優れた景観形成

②水辺のアメニティゾーン

- ・水辺を活かし、上質で憩いのある都市生活を支える機能を誘致
- ～カフェ、レストラン、公益施設、スポーツ施設

③緑と水に調和した住宅ゾーン

- ・周辺の緑地、水辺空間を活かした、環境共生型の住宅、教育施設を整備

④歴史伝承ゾーン

- ・香取神社、野馬土手、民家などの資源を活かし、歴史を感じられる落ち着いた風格ある街並みを形成

⑤教育ゾーン

- ・特徴ある小・中連携校を中心に、近隣の公園、通学路など、安心安全な教育ゾーンを形成



◇ららぽーと柏の葉

- ・店舗面積：12,700坪
- ・店舗数：185店
- ・開業：2006年11月
- ・来場者数：1200万人

◇パークシティ柏の葉キャンパス一番街

- ・規模：35階建他 5棟
- ・総戸数：977戸
- ・入居：2008年3月～



当社グループの推進事業 ～147街区

35

◆パークシティ柏の葉キャンパス 二番街

- ・規模：25階建他 6棟
- ・総戸数：880戸
- ・入居：2010年8月～



「パークシティ柏の葉キャンパス 二番街」では、豊かな緑と街と人々が繋がる、「環境」を意識した空間があります。



ビオープ完成予想CG

ビオープ+家庭菜園
実際に植物を育て、育てた野菜を学食に活用することで自然を学ぶことができます。

太陽光発電
共用部の照明の一部を、太陽光発電によってまかなっています。

レンタサイクル
移動に自転車を活用することで、交通渋滞を防止しCO2の削減ができます。

屋上緑化
環境に配慮して、建物の屋上部分に緑のスペースを多くとっています。

CO2みえる化パネル
CO2の削減量を目で見てわかるようにし、エコ意識を高めます。

カーシェアリング
住民同士で車を共有できるので、低コスト・低燃費を実現します。

当社グループの推進事業 ～147街区

36



緑のメインストリート「グリーンアクセス」



雑木林を再生する「センターグリーン」



CO2削減見える化パネル



グリーンアクセス沿いの共用施設



住民の活動・交流の場「ワークショップ」



太陽光発電(イメージ)



屋上緑化、家庭菜園(イメージ)

当社グループの推進事業 ～148街区

37

- キャンパスシティに必要な多彩な機能を配置
- 東大フューチャーセンターと一体的に整備

2013年春
全体竣工



- 【施設構成】
- ・分譲住宅 700戸
 - ・賃貸住宅 } 320室
 - ・ホテル
 - ・ホール等 800㎡
 - ・商業施設 2400坪
 - ・オフィス 2300坪



分譲住宅

商業施設
オフィス

ららぽーと

ホテル
賃貸住宅
ホール

東京大学
フューチャーセンター

当社グループの推進事業 ～148街区

38

◆商業・オフィス棟

- 商業施設（1～3階）
 - ・大型テナントを誘致し、既存店舗と相乗効果を図る
 - ・既存施設とはデッキで直結
- オフィス（4～6階）
 - ・ゆとりある郊外型ガーデンオフィス
 - ・大学と共同研究する企業、ベンチャー企業、環境先進企業など誘致



デッキテラス



ルーバルコニー



駅前プラザ

当社グループの推進事業 ～148街区

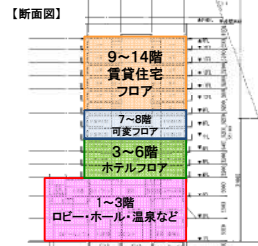
39

◆アコモデーション棟

- ホテル・賃貸住宅（計320室）
 - ・研究者・がんセンター関係者など、1週間～1年程度の中長期滞在中にも対応
 - ・可変フロアを設け、街の成熟に応じて、賃貸住宅からホテルへの用途変更可能
- ホール・会議室（計800㎡）
 - ・大学関係者、テナントの活動をサポート
 - ・東大棟と連続し、連携を高める



ホール(イメージ)



当社グループの推進事業 ～148街区

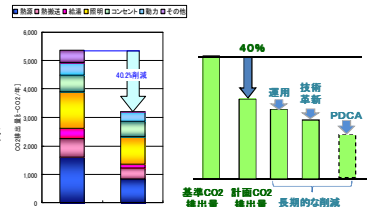
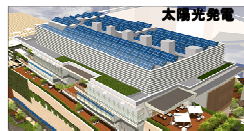
40

◆環境対応

・2010年6月 国交省 住宅建築物省CO2先導事業に採択
⇒地球温暖化ガス(CO₂)排出量40%削減を目指す

【主な環境対策】

- 環境基盤(ランドスケープ)の形成
生態系保全・生物多様性の創出をはかる緑の道・風の道
- 日本の伝統的環境調整手法を活用した負荷抑制
日射の遮蔽、自然通風など
- 自然エネルギー、再生可能・未利用エネルギーの徹底利用(温泉・井戸水など)
太陽光パネル、コジェネレーションなど
- 利用者とともに低炭素化に取り組む仕組み
エネルギー使用量の見える化
- 地域とともに取り組む仕組み
エリアエネルギーマネジメントシステムの構築
⇒スマートシティ実証の起点とする
- ライフサイクルカーボンマネジメント
運営段階で更なる低炭素化をはかる



基盤整備への取り組み ～ 土地区画整理の見直し

41

●キャンパスタウン構想に相応しいインフラづくり

【区画整理事業】

- ・施行者：千葉県
- ・事業認可：2000年8月
- ・土地利用：住宅中心のベッタタウン
- ・整備水準：公共事業の標準仕様



【キャンパスタウン構想】

- ・目標1: 環境と共生する田園都市
- ・目標2: 創造的な産業空間と文化空間の醸成
- ・目標3: 国際的な学術空間と教育空間の形成
- ・目標4: サステイナブルな交通システム
- ・目標7: 質の高い都市空間デザイン



当社グループの推進事業 ～148街区

42

基盤整備への取り組み ～ 土地区画整理の見直し

① 1号調整池: 公園の親水ネットワーク
1号調整池(現況)

② 2号調整池の親水化、散策路設置
2号調整池(現況)

③ 野馬土手の保全
散策路沿いの観音堂(現況)

④ 道路構成の見直し(自転車レーン、ショッピングロード、植栽増加)
ショッピングロード、自転車レーン
参考イメージ: 柏のCO2削減

⑤ 戸建地区の高質化
官民協力により緑溢れる戸建住宅地

⑥ 駅前の高質化
街の玄関口に相応しい駅前空間

基盤整備への取り組み ～ 新設小学校

50

◆特色ある小中連携校

- ・魅力ある学校づくりのため、UDCKと教育委員会が連携。
- ・小学校開校 : 2012年4月

<p>＜教育方針＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学教育 こどもの探究心を育てる専門的な科学教育 ・環境配慮型の校舎、施設 ・外国語教育 充実した外国語教育 ・国際的視野を育む ・小中連携教育 高学年より教科担任制を導入 ・小中合同による行事や集会 ・リトルティーチャー制度 	<p>＜設備の特徴＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携 ～両校の敷地をブリッジで一体化 ・地域連携 ～地域活動の拠点として、地域ルームを設置 ・環境配慮 ～太陽光パネル等で、CO2を44%削減 ・緑化対応 ～敷地内の緑化率25%。隣接公園との一体性配慮
---	--

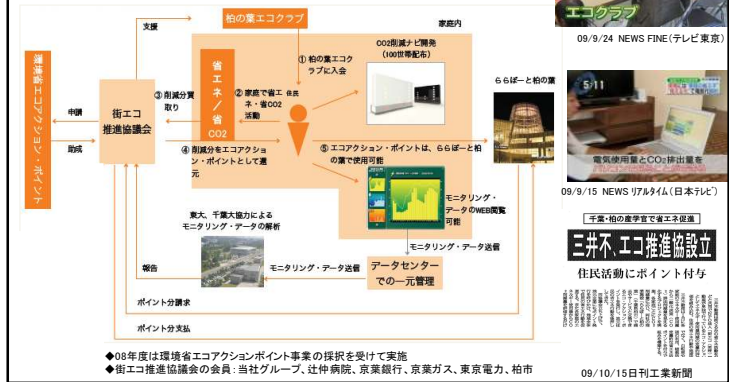


環境への取り組み②

52

◆CO2削減見える化プログラム

- ・住民、大学協働による、街ぐるみのCO2削減活動
- ・「街エコ推進協議会」を発足



環境への取り組み①

51

◆環境目標

07年 柏市は京都市に次いで、全国2番目に地球温暖化防止条例を制定
 ⇒柏の葉エリアを「低炭素まちづくりアクションエリア」指定

08年 キャンパスタウン構想 : CO2削減目標 35% (達成時期2030年。2010年比)

◆低炭素都市実現のための5つの環境対策

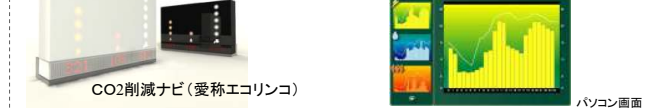


環境への取り組み②

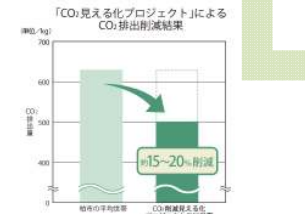
53

◆CO2削減見える化プログラム

- 【パークシティー番街】
- ・電気、ガス、水道の使用量を計測する「CO2削減ナビシステム」を開発
- ・住民モニターによる実証実験を実施



「CO2見える化」の効果を確認



- 【パークシティー番街】
- ・ホームセキュリティ機器に組み込み、標準装備とする



環境への取り組み ③

54

◆サステナブル交通

・自動車依存型から、自転車・公共交通を中心とした交通体系への移行を目指す。



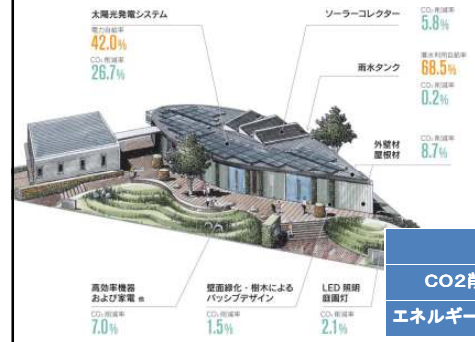
環境への取り組み ⑤

56

◆柏の葉フューチャービレッジ

・環境、健康を見える化した「街のコンセプト・ハウス」

～まちのクラブハウス、キッチン会議室、がん患者・家族支援センター、当社事務所で構成



	計画	実績
CO2削減	52%	48%
エネルギー自給率	42%	30%

※08年9月から1年間の計測値

環境への取り組み ④

55

◆ITS実証実験モデル都市

※ITS・・・高度道路交通システム Intelligent Transport Systems

- ・09年、内閣府より 全国で4番目(豊田市、横浜市、青森市、柏市)に選定
- ・10年、行政、大学、企業の51団体が構成する「柏ITS推進協議会」設立 (柏市、東大ITSセンター、日立、東京電力、三菱電機、当社など)

■実現に向けた取り組み



未来の車

- ・ワイヤレスで充電できる
- ・キャパシタで走る
- ・モーターによる運動制御



環境への取り組み ⑥

57

◆柏版CASBEEの作成

・柏独自の評価を加えた建物の環境評価指標

～「地球環境に配慮した暮らし」、「魅力的な環境での暮らし」、「安心・安全な暮らし」

柏版 CASBEE すまいの目的

- 柏市民に、「柏に住んで良かった」を提供!
- 地球環境に配慮した暮らし
- 魅力的な環境の中での暮らし
- 安心・安全な暮らし

『環境、安心・安全を配慮した優良なすまい』環境負荷型住宅を増やしたい。



09年3月 UDCK環境フォーラムより

柏市環境配慮重点項目評価イメージ 2

各評価項目の達成状況のバランスがわかります





健康への取り組み①

48

◆ケミレストアンププロジェクト

大学、企業が連携して、シックハウス症候群が発生しない家づくりを実証研究
千葉大キャンパス内に4棟の実験棟を建設し計測

参加企業
 ㈱無添加住宅
 ㈱NRAハウジング
 ㈱積水ハウス㈱
 ㈱高千穂
 ㈱東急ホームズ
 東スリーエス㈱ 他

森千里氏(ケミレストアンプ)からTOP構想提唱

09/10/27 日刊建設工業新聞

健康への取り組み④

61

◆東京大学 高齢社会総合研究機構

※ジェロントロジー：老年学

- 09年、ジェロントロジー学推進のため「高齢社会総合研究機構」設立
- 柏市と福井県をモデル都市に選定。
- 産学コンソーシアムに、企業39社が参加。
(富士フイルム、パナソニック、日立、日産自動車、花王、当社など)
- 11年、柏キャンパスに、研究拠点棟が完成予定。

柏に老年学研究拠点 団地の活動と連携

10/5/25 朝日新聞



生活環境・暮らし方の理想の姿

生活環境・暮らし方の理想の姿

- 【住環境・公共空間】緑豊かな美しい住環境の中で、街角広場やコミュニティスペースに高齢者を含む世代が交流している。
- 【住宅】高齢者に配慮したお洒落なリフォームがコストで可能になり、リフォーム住宅の価値や流通性も高まり、必要に応じた転居も可能になっている。
- 【移動・交通】生活や活動に必要な安全で効率のよい移動・交通手段が身体機能に応じていつでもどこでも利用できる。

Aging in Placeの実現

- 【ICT(情報通信メディア)】信頼できるICTサポートがいつでも支援してくれるので、高齢者でも最新のICTを活用しながら仕事やコミュニティ活動を進められる。
- 【生活支援】身体機能に応じた多様な住居、医療・介護等の支援施設を取り込んだ地域マスタープランが策定され、住み慣れた地域に住み続けられる安心感が醸成されている。
- 【食生活】皆が自分にとっておいしい健康的な食生活を営んでおり、楽しみながら残食できるテーブルの環境づくりが実現している。

2010年東大ジェロントロジーコンソーシアム分科会Aグループ資料より



10年5月 調印する
鎌田東大機構長
秋山柏市長

健康への取り組み②

59

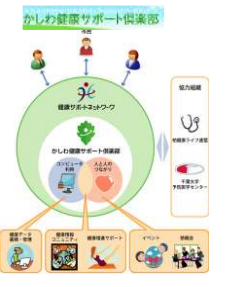
◆予防医学への取り組み

- 07年 千葉大予防医学センターが柏の葉キャンパスに開設
- 08年 「健康サポートネットワーク」による健康サービス事業開始
 - 健康サポートネットワークは、千葉大教員が設立した会社
 - 経済産業省の委託事業（全国4か所）

→現在、「TOP構想」のもと、予防医学モデル都市を目指している。

柏の葉でTOP構想のモデルタウンを！ Public Health を体感できる街

かしわ健康サポート倶楽部




※TOP・・・「Town of Public Health」(Public Health:公衆衛生学)

地域と一体病の芽摘み

千葉大の予防医学研究活動

日経新聞 (08/7/16)

TOP構想: 予防医学の世界的研究・教育拠点



健康への取り組み⑤

62

◆がん患者・家族総合支援センター

- 07年 厚労省「緩和ケア普及モデル地域」に柏市選定(全国4地域)
- 08年 柏の葉に「がん患者・家族総合支援センター」開設

運営母体：国立がんセンター、柏市医師会
 主な機能：情報サロン、地域の相談窓口
 がん患者・家族のサポート
 運営体制：看護師2名常駐 ※当社現地事務所に隣接
 実証期間：3年間

がん緩和の指針作成

厚生省の4地域で大規模研究

日経新聞 (07年12月6日)




緩和ケアとは・・・
 「がんに伴う痛み、心の悩み、療養場所や医療費のことなど患者さんやご家族が直面するさまざまな問題を解決する医療のこと」



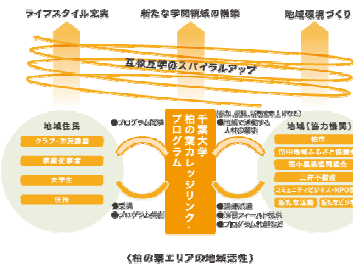
随選で開催されている「柏の葉料理教室」

交流の取り組み ①

64

◆千葉大学カレッジリンク・プログラム

- ・千葉大学主催の環境・健康・農業・食をテーマに、地域住民を対象にした社会人講座
- ・幅広い年齢層の受講者(32歳から75歳)
- ・座学のみでなく、実習も取り入れた実践プログラム
- ・10年度より、大学の教養課程の履修科目となる。



交流の取り組み ③

66

◆はっぱっぱ体操

- ・東大名誉教授 小林寛道氏監修の健康体操
- ・スポーツ医学に基づき、体の内部の筋肉を鍛えることで、脳を活性化させる。



小林寛道名誉教授 地元「若葉だんご会」中心に活動の輪が広がる



地域運動会で準備体操で採用

◆ピノキオ

- ・進出企業の協力による、就労体験プログラム



辻仲病院

千葉銀行



京葉銀行

ピノキオ

交流の取り組み ②

65

◆まちのクラブ活動

- ・新旧住民の交流を目的に、08年より開始。
- ・現在、20のクラブが活動。会員数は850名。



クラブ一覧

- 柏の葉エコクラブ 150
- KFVはじめの、まいじり 20
- かしわ輪たく俱樂部 5
- もっとかメクラクラブ 5
- ペタンククラブ 50
- マルシェクラブ 30
- 柏の葉はちみつクラブ 30
- まちの記憶クラブ 1
- ピノキオクラブ 30
- We Love Todai Pips 30
- 柏の葉ピニッククラブ 10
- イトウセイホーククラブ 5
- パンピククラブ 80
- クラブハウスのお手伝いクラブ 10
- 柏の葉自転車クラブ 10
- もっとなつてクラブ 5
- 柏の葉ネイチャーキッズクラブ 50



パンピククラブ

はちみつクラブ



We Love Todai Pips

まいじりクラブ

交流の取り組み ④

67

◆マルシェ・コロール

- ・地産地消を目指す産地直売市場
- ・駅前ロータリーで月一回、定期開催
- ・本年度より、フリーマーケットも同時開催
- ・来場者は約5000名



交流の取り組み ⑤

68

◆かしはなプロジェクト

駅前の景観づくりを、タウンマネジメントの観点から地域主導での植栽管理を実施。

市民の手による駅前デザイン

花や緑をたくさん植えて、みんなで街を美しく彩るプロジェクト

かしはな

物の置きっぱなし駅前ロータリーを花や緑をたくさん植えて、みんなで街を美しく彩るプロジェクトです。

※このプロジェクトには、市民、学生、ボランティア、地元企業、地元団体、地元NPOなどが参加しています。また、地元企業や団体の協力を得て、プロジェクトの推進を図っています。

※このプロジェクトは、1年単位で実施し、継続的に花や緑を植えることで、街の景観を美しく保ち、市民の生活環境を向上させることを目指しています。

- フラワータワー**
駅前ロータリーに高さ約10mの花タワーを設置。12月(第1)・3月(第2)に植栽作業を実施し、市民が花を育てます。
- 壁面ガーデン・ファーム**
駅前ロータリーの壁面に垂直緑化を実施。12月(第1)・3月(第2)に植栽作業を実施し、市民が野菜を育てます。
- 道のガーデン**
駅前ロータリーの歩道に花壇を設置。12月(第1)・3月(第2)に植栽作業を実施し、市民が花を育てます。
- レイズドベッド工務**
駅前ロータリーの歩道にレイズドベッドを設置。12月(第1)・3月(第2)に植栽作業を実施し、市民が花を育てます。

創造への取り組み ②

71

◆植物工場

千葉大発のベンチャー企業と連携
安心・安全な無農薬野菜を生産、販売
09年、ららぽーとに小スペース型「みらい畑」を設置

千葉大「植物工場研究センター」
10年6月、農水省の事業に採択
柏の葉キャンパス内に「植物工場研究センター」設立し、1万㎡の大規模施設の建設を予定

ららぽーとで実施した植物工場野菜の試食会

大規模施設設置予定地

千葉大学 植物工場研究センター

天然光利用型 完全人工光型

研究開発と社会実装
研究開発と社会実装
研究開発と社会実装

研究開発と社会実装
研究開発と社会実装
研究開発と社会実装

創造への取り組み ①

70

●「公衆電源 espot」プロジェクト

街の至る所で電気利用を可能とし、安心・快適・便利な街を目指す。
09年3月より、UDCK、柏の葉公園、ららぽーとで実験開始

東京電力 × UDCK

(参考) 公衆電源のコンセプトイメージ

みんなが安心・快適・便利に暮らせる世界

お年寄り・ファミリーが快適に過ごせる
ベテラホーム 多機能テレビ
冷暖房ユニットヒートポンプ

人が集まる場所でもっと便利に
携帯電話 モバイルPC
デジタルカスラ

電動車両が安心して利用できる
電動カート 電気自転車
電気自動車 電気バイク
セグウェイ

創造への取り組み

72

◆公的補助を獲得しながら、実証実験、地域活動を推進

環境、交通、ユビキタス、コミュニティなど採択分野は多様。
09年度は、採択件数16件、補助額は4億円超。

国、県の公的補助等を取得した取り組み(09年度採択分)

事業名・制度名	対象事業	申請者(代表)	所管官庁	補助額	備考
低炭素社会に向けた技術開発-社会システム実証モデル事業	地域モールの電力使用量削減支援サービス実証モデル	情報処理研究所、コスモライフ	経済産業省	3千万	全国初
低炭素社会に向けた技術開発-社会システム実証モデル事業	「エコフレンド」による低炭素化地域交通モデルの実証研究	泉陽精工、東大生産研	経済産業省	2千万	全国初
地域省エネ家電のCO2削減量可視化事業	柏の葉キャンパス	三井不動産、戦略事務所	経済産業省	3千万	全国初
地域ICT利活用モデル構築事業	位置情報差感を利用したユビキタスセキュリティシステム	柏市	総務省	1億	
地域ICT利活用モデル構築事業	女性の出席、育児、就業支援システム	柏市	総務省	1億	
ICT活用-地域活性化基盤構築事業「ユビキタス特区」事業	柏の葉キャンパス	三井不動産、株式会社JTBグループ	総務省	1.5億	
IT5家庭実証モデル都市	柏市	柏市	内閣府	-	全国4府
住まい・まちづくり担い手事業	柏の葉アーバンデザインセンター	柏の葉アーバンデザインセンター	国土交通省	3百万	
新たな産業創出・削減環境事業	不動産開発事業にあわせて自転車活用モデル	三井不動産、住信基礎研究所	国土交通省	5百万	全国初
09年キッズデザイン賞	はらぽーと体験	レジ社	NPO(ホップ)協議会	-	
09年ユビキタス賞	はらぽーと体験	レジ社	新日本産業デザイン振興会	-	
持続可能な国際都市づくりの新たな取り組み育成支援事業	オンデマンドバス連携のカーシェアリング	ユービーアール社	千葉県	3百万	
持続可能な国際都市づくりの新たな取り組み育成支援事業	柏の葉 花と緑の効用実証事業	緑蔭事務所	千葉県	4百万	
持続可能な国際都市づくりの新たな取り組み育成支援事業	柏の葉コミュニティグランド	柏の葉アーバンデザインセンター	千葉県	3百万	
持続可能な国際都市づくりの新たな取り組み育成支援事業	ユビキタスにおける「市民科学」地域連携プロジェクト	株式会社「サイエンス」	千葉県	3百万	
持続可能な国際都市づくりの新たな取り組み育成支援事業	ユビキタスプロジェクト2009	株式会社「サイエンス」	千葉県	3百万	
				合計	4.5億円

創造への取り組み ③ 73

●フューチャーデザインセンター(FDC)

・小宮山東大前総長の提唱のもと、09年7月設立。

・人類共通課題の「解決モデル」を示す実践型シンクタンク。

最高顧問(提唱者):小宮山宏

センター長:山田興一
(前東大理事、現在東大総長室顧問)
:佐々木経世(e-solutions)

監事:北畑隆生(元経産省事務次官)

※当社赤坂部長は代表理事

[FDCのコンセプト]
未来の「ありたい姿」を描き、それを実現する「先進モデル」を実証・発信

国家的課題

各所に散在する知・技術

Future Design Center

未来の「ありたい姿」を実現する「先進モデル」の創造

既存に先んじた「先進モデル」の模索

日本のリーダーシップの実現

＜検討テーマ＞

- ・スマートグリッド(推進中)
- ・終末医療
- ・教育、農業、観光……

●我が国は、環境・資源問題、食糧問題、医療問題、教育問題などの国家的課題に直面。

●これらは世界中が共通に抱える課題で、課題を解決は必須。

●我が国の知力・技術力を生かし、課題解決の「先進モデル」を世界に示す必要あり。

「課題先進国」日本から「課題解決先進国」日本へ

柏の葉を拠点としたネットワーク構築 75

プラチナ構想ネットワークのハブ
「柏の葉キャンパス」を拠点に全国へ、世界へ

東京大学

フューチャーセンター

課題解決に向けた未来構想をつくる
知の拠点

→ 連携 ←

FDC (フューチャーデザインセンター)

未来構想を社会における実践へ展開し
課題解決に繋げていく
日本の課題解決のハブ拠点となる

09/12/18 記者会見
小宮山先生資料より

プラチナ構想ネットワーク 74
(エコ・バリアフリー・ひとづくり・雇用で快適なまちづくり)

自立国債
(償還確実債)

長野県信濃町 検討中

富山市:「ライトレールを中心としたコンパクトシティ」検討中

水尾市:「既存商店街を高齢者向けのコンパクトシティに」検討中

福井県:「豊かな高齢社会協定」(東大高齢社会機構と)

北九州市:「環境首都・アジア低炭素化センター(仮称)・センター」検討中

熊本県:折衝中

プラチナ・ファンド

県民債

大樹町:大樹グリーン・ソサエティ 最高顧問予定

青森県:「青い森セントラルパーク低炭素モデルタウン構想」グリッド、野菜工場、新築・既築キックオフ9.29:特別顧問

茨城県(北茨城):「エコ+農業+林業」交渉予定

柏市・流山市:「柏国際学術都市構想」産自学連携2005より

千葉県香取市山田区域(旧山田町)検討中

山梨県:「バイオマスタウン構想」折衝中

東京都:「東京臨海副都心」[「レインボータウンのエコタウン化」]検討中

川崎市:「イノベーションタウン(仮)」ナノマイクロ、4大学コンソーシアム

横浜市:「エコハブ・エコスクール(YES)」名譽顧問

静岡県:折衝中

環境モデル都市のアクションプラン公表:北九州市、京都市、横浜市、飯田市、寿広市、富山市、豊田市、下川町、水俣市、宮古市、樽原町、千代田区

MRIの提案:プラチナ社会

09/12/18 記者会見
小宮山先生資料より

09年12月1日現在 文責 小宮山 宏

創造への取り組み ③ 76

◆フューチャーデザインセンター(FDC) ~スマートグリッドへの取り組み

最先端技術を駆使した「スマートシティプロジェクト」

2009年7月

一般社団法人フューチャーデザインセンター(FDC)設立

2009年11月

「スマートシティプロジェクト」スタート

- 参加メンバー: 合計7社
- ・HP
- ・SAP
- ・SHARP
- ・日建設計
- ・三井不動産
- ・イーソリューションズ
- ・東京電力(オプザバー)

2010年4月~

スマートシティ企画(株)に新たに4社加入

- ・伊藤忠商事
- ・清水建設
- ・日立製作所
- ・山武

スマートシティを柏の葉で実現すべく取組中
柏の葉モデルとして世界に発信

09/12/18記者会見を行う参加企業

創造への取り組み ④ 77

◆TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)

●知が集積するTX沿線で、地域主導によるベンチャー企業の育成、支援を目指す。
●09年11月設立。現在、会員数は142者。

代表：村井 勝
コンパック日本法人前代表取締役社長、その他、国内のベンチャー企業数社の設立に資する。Entrepreneur of the Year Japan 前代表審査委員長。

副代表：増田一之
日本興業銀行にて投資銀行部門・IT部門・海外現地法人社長、バイオベンチャー・アナログベンチャーほか起業家、ベンチャー領域にて学術博士（早稲田大学）。

TXアントレプレナーズベルト

柏の葉拠点 AGORA(アゴラ)

秋葉原拠点 (2010.5オープン)

会員

- アントレプレナー会員
- エンジェル会員
- サポート会員
- スポンサー会員

会員数の推移
(2009.11.19設立時～2010.7.1時点)

年月	アントレプレナー	エンジェル	サポート	スポンサー	合計
2009.12	57	24	10	3	94
2010.1	74	30	12	3	119
2	43	13	37	3	96
3	55	15	45	4	119
4	97	15	46	7	165
5	134	16	48	7	205
6	142	16	52	7	217

アントレプレナーの成長支援フロー

STAGE 1
課題やニーズの把握・個別相談

●代表主催ランチ
アントレプレナー会員と役員、世話人による意見交換会
(月1回開催)

STAGE 2
エンジェル例会でのプレゼンテーション

●エンジェル例会
アントレプレナー会員の事業オーデション
(毎月1回2社開催)

STAGE 3
エンジェル例会後のフォローアップ

●個別フォロー
出資を含め経営参画を行う
エンジェル税制を活用した投資実績あり。



創造への取り組み ④ 78

◆TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)

●エンジェル会員

企業家は社会の夢を実現するアーティストだ。

村井 勝 代表
(コンパック日本初代社長、WEQO初代委員長)

イノベーションに挑戦する企業家が、次の時代の産業を作る。

北城 格太郎 氏 <エンジェル会員>
(経済同友会 前代表幹事 / 日本IBM最高顧問)

起業とかビジネスは "How much" ではなく "How Wonderful" を目指してチャレンジすべきもの。

故 石橋 博良 氏 <エンジェル会員>
(朝日ウェザーニューズ設立/代表取締役会長)

コラボレーションから、より多くの可能性が生まれる。起業家との連携に期待。

重田 龍男 氏 <エンジェル会員>
(相商工会議所 副会頭/シンクラボラトリ代表)

●アントレプレナー会員

◆アクセルスペース

- ・08年設立の東大発のベンチャー企業
- ～航空宇宙学科の中須賀研究室OBが母体
- ～中須賀教授は、内閣府「最先端研究開発支援プログラム」に採択(5年、41億交付)
- ・事業領域は、小型衛星の設計・開発・製造・運用
- ・本社は、東葛テクノプラザ。

中村社長は31歳。
07年博士課程修了

50kgの超小型衛星「ハク弥生」

◆アミンファーマ研究所

- ・07年設立の千葉大発のベンチャー。
- ～五十嵐代表は元千葉大薬学部教授
- ・05年NEDO「大学発事業創出実用化研究開発事業」からスタート。
- ・事業領域は、脳梗塞のリスク評価

高リスク多発
血液分析による評価結果

◆アルベド

- ・06年設立。
- ・明室で使用可能なスクリーンの開発・販売
- ・本社は、東葛テクノプラザ。